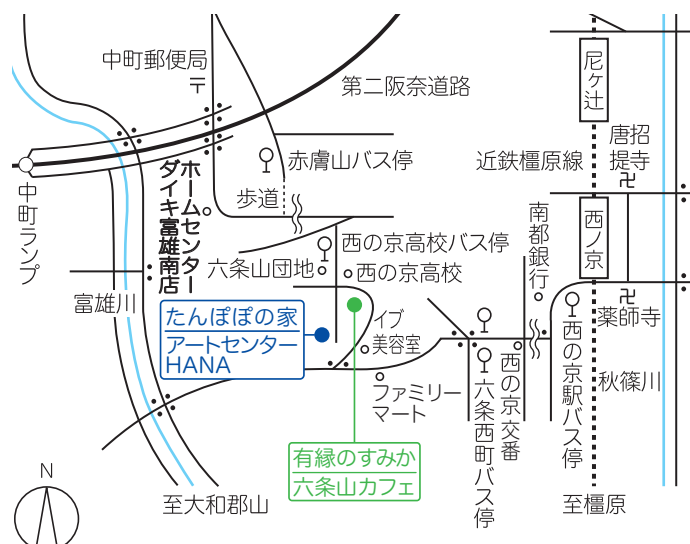


会場のご案内



たんぽぽの家アートセンターHANA
〒630-8044 奈良県奈良市六条西3-25-4
Tel: 0742-43-7055

近鉄奈良線「学園前」駅南口より
「西の京高校」行きのバスに乗り、終点「西の京高校」で下車、徒歩3分。
バスと徒歩で約20分。

「赤膚山」行きのバスに乗り、終点「赤膚山」で下車、徒歩15分。
バスと徒歩で約30分。

近鉄橿原線「西の京」駅より
「六条山」行きのバスに乗り「六条西町」で下車、徒歩10分。
バスと徒歩で約20分。

ウェブサイトからご覧になれます
<http://tanpoponoye.org/>

- 定員 | 30名
- 対象 | 福祉施設職員、パフォーマンスアート活動に関心のある人、障害のある人の表現に関心のある人、アーティスト、デザイナーなど
- 参加費 | 2日間3,000円(学生1,500円) / 1日のみ2,000円(学生1,000円)
交流会費3,000円 / 2日目ランチ600円
- お申込み方法 | 申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、ファックス、郵送、メールにてお送りください。

パフォーマンスアートを体感しながら学ぶ2日間 参加申し込みフォーム ※個人情報は、本プログラムの受付事務においてのみ使用いたします。

<http://artsoudan.tanpoponoye.org/> E-mail: artsoudan@popo.or.jp Fax: 0742-49-5501

お名前[ふりがな]	所属先・活動内容等
ご住所[ご自宅以外の場合は、団体名までお書きください] 〒 -	
Tel.	Fax.
E-mail	

このプログラムをお知りになったきっかけ、場所

プログラムへの参加			
<input type="checkbox"/> 2日間参加[3,000円]	<input type="checkbox"/> 2日間参加(学生)[1,500円]	<input type="checkbox"/> 1日間参加[2,000円]	<input type="checkbox"/> 1日間参加(学生)[1,000円]
交流会[20日(土)]		ランチ[21日(日)]	
<input type="checkbox"/> 参加[3,000円] <input type="checkbox"/> 不参加		<input type="checkbox"/> 希望する[600円] <input type="checkbox"/> 希望しない	

〒630-8044 奈良県奈良市六条西3-25-4

お申込み・お問合せ先 障害とアートの相談室 一般財団法人たんぽぽの家内 <http://artsoudan.tanpoponoye.org/>
Tel: 0742-43-7055 fax: 0742-49-5501 E-mail artsoudan@popo.or.jp

パフォーマンスアーツを体感しながら学ぶ2日間



障害とアートの相談室では、パフォーマンスアーツの分野でジャンルを横断するような形で障害のある人と活動している方を招き、レクチャー・ワークショップを開催します。

近年ではビジュアルアートだけではなく、演劇、音楽、ダンスなどのパフォーマンスアーツなど、多様なジャンルで発信する機会が増えてきました。それにともない、それらの表現をどう見るか、どう見せていくのかという関心も高まってきています。また、形にのこらない作品、そもそも既存のジャンルを超えるような表現について考え共有していく場も必要です。

パフォーマンスアーツについて知ること、人間の表現の幅を感じ、身近な人の可能性を見出すことができます。2日間にわたって、多様な表現を知り、体感し、考え、議論し、そこからそれぞれの活動に応用できるようなヒントを見つけていきます。実際に自分の身体を動かして、パフォーマンスアーツの現在を一緒に体感したいと思います。みなさまのご参加をお待ちしています!

2018年 1月20日(土)・21日(日)

| 13:30開場 | 14:00開始 |

会場: たんぽぽの家アートセンター HANA (奈良市六条西3-25-4)

定員: 30名

対象: 福祉施設職員、パフォーマンスアート活動に関心のある人、障害のある人の表現に関心のある人、アーティスト、デザイナーなど

参加費: 2日間3,000円(学生1,500円) 1日のみ2,000円(学生1,000円)

*このプログラムは、厚生労働省「障害者芸術文化活動普及支援事業」の一環で行っています。

トークセッションーいろいろな取り組みを知る

1日目 1月20日[土]

実践者から、活動をするうえで目指してきたことや気をつけてきたこと、これからの展望などを聞きます。障害のある人だけでなく、異分野や異なるコミュニティと関わるからこそ見えてくる舞台表現の役割や魅力を探ります。

14:00～18:00
[途中休憩あり]

3つの事例をお話いただき、参加者のみなさんと議論を深めていきます。

| コーディネート | 大井卓也、中島香織(一般財団法人たんぼぼの家)

| 話し手 ① | 沼田里衣(大阪市立大学テニユアトラック准教授、おとあそび工房)

「いろいろな価値観を楽しむ即興音楽」

即興演奏を得意とするミュージシャン、音楽療法家、知的に障害のある人の出会いによって2005年に生まれたパフォーマンス集団、音遊びの会。設立から12年にわたり代表をつとめた沼田さんは現在、さらなる実験的な取り組みを展開しています。音楽にかぎらず、美術家やお笑い芸人など、他ジャンルの表現活動とのコラボレーションも積極的に行い、出会いから生まれた新しい音楽のかたちを共有します。

| 話し手 ② | いしいみちこ(ドラマティチャー、大阪府追手門学院高等学校表現コミュニケーションコース教諭)

「生きやすくなるための演劇教育」

教育の現場でドラマティチャーを務めるいしいさんは、演劇界で活躍する演出家らと協働して、作品を送りだしています。福島県いわき市の高校で、船屋法水さんとともに作り上げた舞台『ブルーシート』は岸田國士戯曲賞を受賞、大きな反響を呼びました。

| 話し手 ③ | 森田かずよ(女優、ダンサー)

「身体を再発見するダンス」

コンテンポラリーダンスやフラダンス、演劇と、さまざまなジャンルに挑戦する森田さん。舞台の途中で義足ははずしておどる、代表作「アルクアシタ」など、つねに自身の身体の可能性を探求しながら表現を続けています。現在は、子どもたちにむけたワークショップも行い、だれもが異なる身体を持つことを伝えています。

18:30～20:30

「国内外におけるパフォーマンスの映像上映&美味しいごはんを囲んでの交流会」

参加費:3,000円

| コーディネート | 中川真(大阪市立大学都市研究プラザ特任教授)

さまざまなパフォーマンスの映像記録をとおして、多様な取り組みを共有します。ひとりでじっくり鑑賞するのもいいですが、ここでは、集まった人とともに語り合いながら、一緒に楽しみたいと思います。

*期間中、Good Job! センター香芝から、Good Job Coffeeの屋台がやってきます。温かい飲み物でほっと一息つきながら、トークを楽しみましょう!

ワークショップーじっさいに動いてみる

2日目 1月21日[日]

2日目は、「うごく」「えんじる」「きく」の3つの部屋にわかれて、ワークショップ形式で体験します。午後からは体験したことをことばにして、振り返っていきます。いつもとは少しちがう感覚で1日を過ごし、参加者それぞれのこれからの活動のヒントを探ります。

10:00～12:00
| ワークショップ |

①～③の部屋からひとつを選んでご参加ください。

1 うごく

生活の動きから生まれる表現の素を共有し、即興的な動きから生まれる豊かな関係を体験することで、私たちがもっていた「ダンス」の概念をひろげます。

佐久間新(ジャワ舞踊家)



photo: 森野亮一

2 えんじる

障害のある人とつくる演劇の可能性とは?たんぼぼの家のスタッフでありながら各地で俳優として舞台に立つ佐藤さんから、福祉施設における演劇の役割について、具体的に学びます。

佐藤拓道(俳優/たんぼぼの家スタッフ)



photo: 衣笠名津美

3 きく

他人の音に耳をすますところから、コラボレーションは始まります。数々の公演やワークショップから得た経験やノウハウを共有します。

沼田里衣
(大阪市立大学テニユアトラック准教授、おとあそび工房)



12:00～13:30

休憩(ランチをご希望の方は事前にお申し込みください、600円)

13:30～15:30
| 振り返り |

各部屋の参加者から何人か、午前中のワークショップで、「わたしの体験したこと」を話してもらいます。そのあと他の参加者や各部屋の講師とともに、感じたことや思ったこと、疑問に感じたことなどを共有します。

「福祉施設をあそぶ」

福祉施設そのものを使って、多様な表現を実感する試みです。身近なものを使って、景色や人のふるまいをさりげなく、大胆に変えてきた美術家の梅田哲也さんの、現実を豊かに楽しむ視点を共有します。

梅田哲也(美術家)



photo: 小松寿里

特別企画